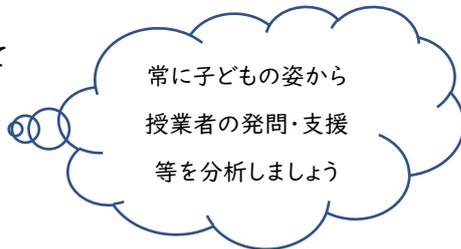


★児童生徒の言動を中心に、その姿を引き出した教師の言動をみて、その授業の良さや課題を考えよう★

児童生徒の姿から授業改善につなげるために、以下の視点で授業研究会を実施

- ・児童生徒の変容につながった手立て
- ・児童生徒の変容につながらなかった手立て
- ・児童生徒同士の関わらせ方
- ・資料提示の工夫
- ・効果的な発問や切り返し など



自分の授業でも多様な
子どもの反応が読める
ようになってきます

教師の手立てが児童生徒にとって有効であったかを、児童生徒の具体的な姿から見取る

- 一人の児童生徒にフォーカスして、児童生徒の状態の変容やその変容が起こった発問・支援等を簡単に記録
- 授業後に該当児童生徒に対して聞き取り（授業中は内面までは分からないため、必要に応じて実施）
- 記録を基に授業研究会で協議

PADカードによる授業分析

PADカードとは、授業者が Passive・Active・Deep の状態について子どもの姿を想定して表したカード
参観者はそれを基に子どもの様子を観察しながら、授業者の支援等について分析する

PADカード（記録用紙）の例

PAD	児童生徒の状態	教師の手立て	授業中の児童生徒の姿と教師の発問や支援等
P・ A・ D	PADのそれぞれの状態での様子を想定	P→A、A→D への手立てを想定	児童生徒の姿（変容がないときも） そのときの教師の発問・支援

※『PAD・児童生徒の状態・教師の手立て』までを授業者が事前に作成し、参観者はこのカードを基に授業を参観する

PAD（付箋）の例

Passive（受動）：児童生徒が受け身な活動をしている

- （青ふせん）
- ・板書をノートに写し、教師や友達の話を聞いている
 - ・話合いや観察、実験等が人任せになっている

Active（能動）：児童生徒が主体的で対話的な活動をしている

- （赤ふせん）
- ・課題を自分のものにし、その解決を意識して活動に取り組んでいる
 - ・仮説や考察など、自分の考えをもつことができている

Deep（深い学び）：児童生徒が Active の状態であり、各教科等の特質に応じて「見方・考え方」を働かせている

- （黄ふせん）
- ・自分と友達の考えを比較・検討し、自分の考えを再構築している
 - ・関心や意欲が高まり、新たな問いが生まれている

PADカードを事前に準備できない場合は付箋を使って実践することも可能です

上半分：子どもの姿
下半分：教師の手立て

ポイント

子どもの言動を中心に、その姿を引き出した先生の言動を見て、その授業のよさや課題を考えましょう。

そのような見方に慣れてくると、次第に「この問いかけだと子どもたちはわからないんじゃないかな?」「意欲が落ちるかな」と、先生の言動から子どもたちの反応がイメージできるようになってきます。先生の言動から子どもの反応が予測できるようになってくると、自分の授業でも多様な子どもの反応が読めるようになってくるはずです。

児童生徒が主体となる授業改善に向けて 授業実践編

令和6年10月
東部教育事務所

★Passive から Active に、さらに Deep へ★

これまでの授業
板書を写すだけ、全員が
同じことを同じように行う

これからの授業

自分で考えて、自分で決めて、
自分で動き出す
「自律した学習者」へ

一斉型の講義を受けるだけの
受動的な学び



能動的で他者と協働した学び
(主体的・対話的で深い学び)



授業
・同じ内容を同じ方法で同じペースで進める授業
・教師の指示通りに進められる授業

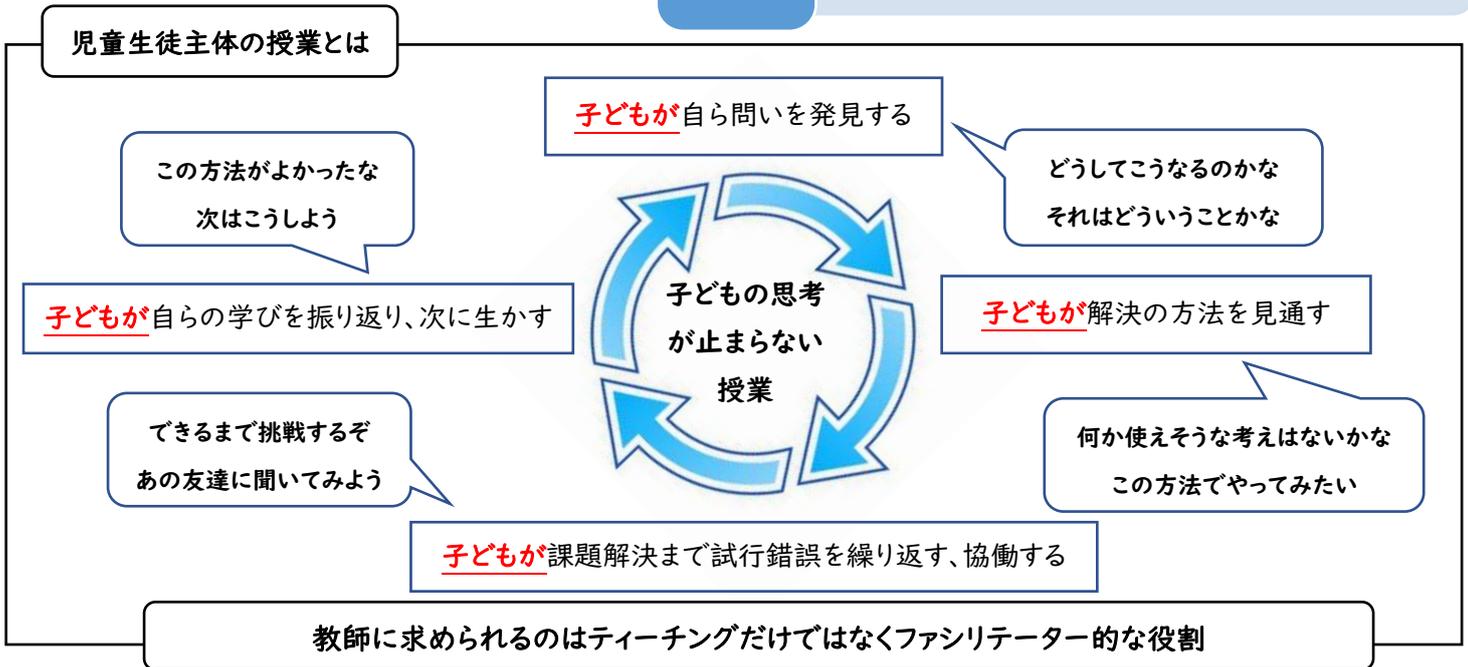
授業
・学習者それぞれの興味関心や学習進度に応じた授業
・学習者が解決の方法を自分なりに選択・判断し行っていく授業
・学習者が自分の学びを振り返り、次に活かしていくとする授業

子どもの姿
・受け身で教師の指示を常に待つ姿
・指示や内容に疑問を感じず行う姿

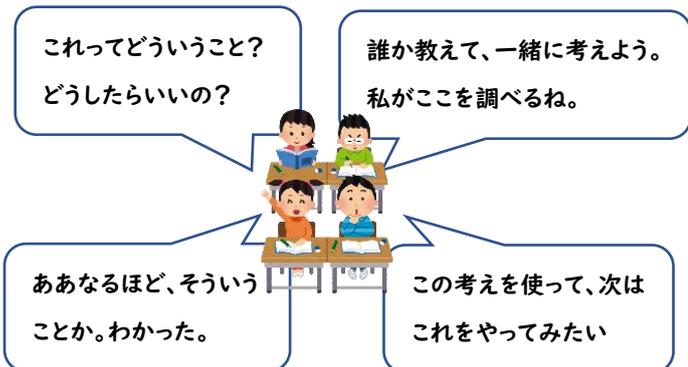
子どもの姿
・意図を持って、主体的に課題に取り組む姿
・一人一人が自分の課題に取り組み、試行錯誤を繰り返す姿
・協働して、ものや考えを創り出す姿

教師の姿
・「目に見えやすい学力」に重点をおいた指導をする姿
・周りと同じように行うことを重視した姿

教師の姿
・「目に見えにくい学力」も大切にする姿
・子どもたちに委ねられるところは委ねる姿
・一人一人のよさに着目し、その良さを伸ばそうとする姿



児童生徒主体の授業で聞こえてくる言葉



教師の役割は…

- ・これまで以上に、子どもたちが主体的に学べるような入念な準備や手立てを講じる
- ・授業では、教師の指示で学ぶのではなく、学びに関わる多くの決定を子どもに委ね、子どもたちに選択・判断・決定させ、実行させる場面をつくる
- ・一人一人の子どもを丁寧に見取り、機会を捉えた適切な指導を行う